

研究班の設置について (分野別施策と全体目標の評価指標について)

分野別施策

【医療分野】

- ・放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実
- ・チーム医療の推進
- ・がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
- ・地域の医療・介護サービス提供体制の構築
- ・小児がん
- ・希少がん、病理診断、リハビリテーション
- ・緩和ケア

【研究技術開発分野】

- ・医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組
- ・がん研究

【社会分野】

- ・がんに関する相談支援と情報提供
- ・がんの教育・普及啓発
- ・がん患者の就労を含めた社会的な問題

全体目標

がんによる死亡の減少
(75才未満の年齢調整死亡率を20%減少)

全てのがん患者とその家族の
苦痛の軽減と
療養生活の質の維持向上

がんになっても安心して暮ら
せる社会の構築

【研究班の設置】

- 各分野別施策の進捗状況等を評価するための指標
- 全体目標の達成度を評価するための指標

指標案の策定と、指標となるデータの収集

研究班の設置について(がん対策の指標策定に関する3つの研究)

| 課題名 | がん対策における進捗管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究 | がん対策における緩和ケアの評価に関する研究 | がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究 |
|---------------|--|--|--|
| 代表者(敬称略) | 若尾 文彦 | 加藤 雅志 | 細川 豊史 |
| 分野別施策の評価指標 | <ol style="list-style-type: none"> 緩和ケア以外の分野別施策の指標案策定 <ul style="list-style-type: none"> 協議会委員と専門家の総意による指標案の策定 | <ol style="list-style-type: none"> 緩和ケア施策の指標案策定 <ul style="list-style-type: none"> 協議会委員と専門家の総意による指標策定 | |
| 全体目標の評価指標 (※) | <ol style="list-style-type: none"> 療養生活の質の維持向上に関する指標案策定 <ul style="list-style-type: none"> 第38回協議会(H25.3)で了承された指標案を基礎としたパイロット調査等を参考に、さらに協議会委員等から意見を反映し、実際に評価に用いる指標案を策定する | | <ol style="list-style-type: none"> 苦痛の軽減に関する指標案策定 <ul style="list-style-type: none"> 系統的文献検索、専門家のレビューによる既存指標の再検討を行い、抽出された指標案を基に、数か所の拠点病院にてパイロット調査を実施した上で指標案を策定する |
| 中間評価に関する指標計測等 | <ol style="list-style-type: none"> 指標データの収集 <ul style="list-style-type: none"> 分野別施策とがんによる死亡者の減少、療養生活の質の維持向上に関する指標データを収集し、協議会での中間評価に供する | <ol style="list-style-type: none"> 指標データの収集 <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア施策に関する指標データを収集し、協議会での中間評価に供する 緩和ケア提供体制変化を質的・量的に検討 <ul style="list-style-type: none"> 協議会委員・医師・看護師・患者へのインタビューに基づき、緩和ケア提供体制の経時的な変化を質的・量的に検討し、協議会での中間評価の参考に供する | <ol style="list-style-type: none"> 指標データの収集 <ul style="list-style-type: none"> 苦痛の軽減に関する指標データを収集し、協議会での中間評価に供する |
| その他 | | | <ol style="list-style-type: none"> がん疼痛緩和に関する提言 <ul style="list-style-type: none"> 施設インタビューにより、疼痛緩和評価についてのシステムを開発する |

※ 全体目標の、「がんによる死亡の減少」については指標が明確であり、既に継続的に測定が行われている。また、「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」については、今回の研究班による評価指標案の策定をめざすものではないが、評価に向けた検討に着手することとする。